

保険診療 知っとく! なっ得!

資格喪失が疑われる 場合の受給資格の照会

年公開した「健康保険組合等における個人情報ガイドライン」を補完する事例集の中で、被保険者の情報開示について示している(左枠内)。しかし、情報開示は義務ではないため、保険者によっては開示しない場合も可欠である。

保険者への照会も手段としては有効だが、日々の窓口での対応を徹底することが未収を防ぐ一番の近道である。また、根本的には無保険の患者をつくらない制度改善が不可欠である。

(問316) 保険医療機関や保険薬局から、受給資格の有無の照会がなされた場合の対応はどうか

(答) 原則として、あらかじめ本人の同意が必要である。

ただし、資格喪失後の受診の疑いがある場合に医療機関から照会が行われた場合等にあつては、健康保険組合の財産の保護のために必要がある場合であつて、本人の同意を得ることが困難である場合に該当するため、本人の同意を得ずに回答に応じて差し支えない。(個人情報保護法第23条第1項第2号)

なお、保険医療機関等からの電話による問い合わせに回答する場合は、その場で即答せずに相手方の所属、氏名、代表電話番号、内線番号等を確認した後、折り返し電話するなどの配慮が望ましい。照会元が疑わしい場合は、電話帳で当該医療機関の代表番号を調べ、総務担当者等に確認するなどの工夫を行うこと。

(照会先) 保険局保険課



中之島の遊歩道沿いにたたずむ東洋陶磁美術館 = 1月、大阪市内

1982年に開館した大阪市立東洋陶磁美術館は、地下鉄淀屋橋駅から徒歩5分程度の所にある。中之島の美しい遊歩道に沿って大阪市役所、中之島図書館、中央公会堂、東洋陶磁美術館が並び、大阪

の中心部にふさわしい重厚さを醸し出している。美術館には安宅コレクションの中国・韓国陶磁を中心に李秉昌イ・ピ

界第一級の質と量を誇っている。その中には2点の国宝と13点の重要文化財が含まれ、見やすく系統的に展示されている。

大阪市立東洋陶磁美術館

ユンチャンの韓国陶磁、濱田正司作品等の寄贈や日本陶磁の収集等により1000点程の東洋陶磁コレクションがあり、世

5年から企業の利益還元と社員教養の向上のために美術品収集を行い、20年間で70数億円を費やした。国宝の油滴天目茶碗は12、13世紀頃のもので、豊臣秀次、西本願寺、三井家を経て若狭酒

400年以前の日本には陶器はあったが、磁器はなかったといわれている。

磁器を生産の端緒と成るのは秀吉の朝鮮出兵で、撤退の際に大名は各地の陶工を連れて帰り、磁器を焼成するようになった。その後、日本は多くの陶磁器を生産し、東南アジアやヨーロッパに輸出し、日本の陶磁器の素晴らしさを世界に知らしめるようになった。

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。協会の行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

2016年診療報酬改定の最新情報とその狙い

大阪市北部・東部地区 偶発症・難症例への対応—歯内療法における神経損傷の臨床的対応

日時 2月20日(土) 午後6時〜8時30分
場所 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 長谷川誠美氏(東淀川区開業)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 100人

TPPで国民に大きな損失 共済懇話会 学習交流会開催



講演する森原氏12月4日、M&Dホール

自主的に運営する共済の保険業法適用除外を求めて2007年に発足した「共済の今日と未来を考える大阪懇話会」は15年12月4日、8周年の学習交流会を開き6団体40人が参加した。森原康仁・三重大学文学部准教授が「大筋合意後のTPP—その社会・経済的影響を考える」をテーマに記念講演した。

森原氏は、昨年10月のTPPの「大筋合意」とは、官僚が作った用語で国際的に通用する言葉ではなく、交渉が難航したことから国民に成果をアピールするもので、参入

しているため、自由化で輸出が増えるとは言えないとした。

森原氏は「TPPはアメリカの多国籍企業の利益のために国民の命や暮らしに関わる制度を改変し、金融・保険・医療などの各分野にも大きな損失を受ける。政治的懸念が強いTPPには強い懸念を覚える」と締めくくった。

各団体の活動報告では、下井戸昭介理事長が共済規制に直結するTPPに反対を表明し、共済を守るための連携を呼びかけた。交流会では、共済に対する規制強化や保険業法の再改悪を許さない共同の取り組みを進めるための「申し合わせ」を参加者全員で確認した。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

堺・高石・和泉地区 高齢者におけるインプラント管理

日時 2月3日(水) 午後8時〜10時
会場 東洋ビル1階会議室3(南海高野線「堺東」駅徒歩3分)
講師 中島康氏(高石市開業) 定員 50人
会費 会員無料、未入会者1万円

社保研究部 個別指導対策講習会

増える内部告発、患者通報への対応

日時 2月6日(土) 午後6時〜8時
会場 保険医会館5階会議室
講師 社保研究部講師団 会費 会員千円
対象 会員本人に限る 定員 60人
※「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト2013年8月版」をご持参ください

大阪市内西部地区 歯内療法トラブルシューティング—偶発症の科学と臨床

日時 2月7日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 木ノ本喜史氏(大阪大学歯学部臨床教授・吹田市開業)
会費 会員無料、未入会者1万円
定員 100人

会員学習会 地域包括ケア構想と政府の2025年に向けた医療供給体制づくりの全体像—かかりつけ医・歯科医をキーワードに—

日時 2月13日(土) 午後5時30分〜7時30分
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 岡崎祐司氏(佛教大学社会学部教授)
会費 会員無料 定員 100人

2016年診療報酬改定の最新情報とその狙い

日時 2月14日(日) 午前10時〜正午
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 社保研究部・政策部 両部会講師団
会費 会員無料 定員 100人